

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	凹凸療育園キット江戸川台		
○保護者評価実施期間	2026年3月1日		～ 2026年3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15 (回答者数)	8
○従業者評価実施期間	2026年3月1日		～ 2026年3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	3
○訪問先施設評価実施期間	2026年3月1日		～ 2026年3月 15日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童一人ひとりの特性や発達段階に応じた個別的かつ柔軟な支援が提供されており、日々のプログラムを通じて児童の成長が実感できている点が評価されている。今後も個別支援の質のさらなる向上と継続的な支援体制の充実が期待される。	多様な活動プログラムを取り入れ、児童が楽しみながら参加できる環境づくりを行っている。また、児童の興味関心に応じた支援を意識し、主体性を引き出す関わりを実施している。	保護者に対して支援の目的や内容をより分かりやすく伝えるため、説明機会の充実や資料の工夫（見える化）を進めることが求められる。
2	保護者の不安や悩みに寄り添い、心理的な支えとなる関わりができていく点が強みとして挙げられる。特に、発達に関する不安を抱える保護者に対し、安心感を提供できていることから、今後も相談支援機能の充実が期待される。	保護者参加型のイベントを実施し、日頃の支援の様子を共有することで、事業所と家庭との信頼関係構築に努めている。	関係機関（保育園等）との連携強化に向け、情報共有の頻度や方法（書面・記録等）の整備を図ることで、より一貫性のある支援体制の構築が期待される。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	一部の保護者において、支援の目的や評価項目の意図が十分に理解されていない状況が見られ、情報提供の分かりやすさに課題がある。	支援内容や制度に関する説明が専門的になりやすく、保護者にとって理解しづらい表現となっている可能性がある。	保護者向けの説明資料やフィードバック方法の見直しを行い、より平易で分かりやすい情報提供を実施していけるよう検討していく。
2	保育園等との情報共有について、保護者から更なる連携を望む声があり、関係機関との連携体制に改善の余地がある。	関係機関との情報共有において、各機関の運用ルールや時間的制約があり、十分な連携が図りにくい状況がある。	保育園等との連携について、工夫や取り組みを行えるよう関係機関との連携を強化したり、一事業所単位でも実践可能な連絡の方法を試案していく。